ベルマーク大使 羽ばたく

Bellmark Ambassador

へき地校への愛情を胸に

松本哲さん

ジブラルタ生命がベルマーク財団に寄贈したベルマークの山。自社収集の分と仕分けボランティアの分と合わせ100万点を超えました。左端が松本さん＝2015年4月7日、ベルマーク財団で

ベルマークを助け出すと止まりません。ジブラルタ生命の松本哲さんです。

大使としての抱負を二つ挙げました。「一校でも多く、ベルマーク運動に参加してもらえるように働きかけます」「へき地校や特別支援学校への支援も、もっと広げていきたい」。探く、熱い決意が伝わってきます。

キーワードは「すべては未来を担う子どもたちのために」です。

原点は江戸川区にあります。松本さんの仁义は教師の出発点。新人として最初の赴任地、そして、校長として初めて責任ある学校はいずれも、き地の島でした。

「父は（き地での）地元の人たちの温かさをいつも話っていました。彼方からへき地に戻って、父は人間らしさを取り戻したようでした」

この思いは、ベルマークとの関わりの中でよみがえります。ジブラルタ生命の勤務先は、「公立学校、とくに、き地校で働く教職員が多数います。松本さんはかつて、へき地校を回る中で、ある学校の掲示板でベルマーク新聞を見つけました。自分も集めていたことを思い出しました。

ベルマークを保険に活用できないだろうか、業務の合間を縫って仕組みを研究し、財団と折衝し、会社を説得して2004年の月、生命保険会社第1号の協賛会社として加入にこぎつけました。

松本さんは10年以上、さまざまなアイデアを形にし、社内外でベルマーク活動に奔走してきました。社員による仕分けボランティアは、いま全国の多くの企業に取り入れられ、広がりを見せています。

1年後、へき地校への財団の出前授業のために一0万円を寄付しました。新年度も続ける予定です。

「もっと校におたいい、役にはつことをしていかなければいけませんね」

大使のバッジは日々、スッーツの襟元に光らせています。（米内隆）

「子供の森」計画 応援に力

齋藤大祐さん

大使の委嘱状を持つ齋藤さんを囲む奉仕活動委員会のみなさん。前列左端は顧問の鬼石郁子先生

「ベルマークはまだ勉強中です。実は10月から生徒会の奉仕活動委員会の後期委員長になったばかりで、浜松市の中野学園オイスカ高校2年の齋藤大祐さんは1月に活躍するミッションフィルダー（MF）・相庄ともあたり活躍するミッションフィルダー（MF）・相庄ともあるM田部顧問の山本元先生の推薦もあり、齋藤一致で後期委員長に選ばれました。「案面でましば」が齋藤さんの持ち味です。通常、任期は半年ですが、ベルマーク大使を委嘱されたことで半年延長の今年9月までとなりました。

同校は1学年4クラスで40分ほど、浜名湖駅からの車がおよそ1時間かかる場所にあります。1971（昭和46）年にベルマーク運動に参加しました。東南アジアを中心とした植林活動を目標に、活発に運動を展開してきました。年間集票目数は5年続けて全国1位となり、その名を広めてきました。昨年12月には累計で1100万点を突破し、全国6連覇も視野に入ってきました。

それを支えているのが奉仕活動委員会（18人）です。会長生徒は3・11人と小規模ですが、「子供の森」計画は学校の殿立母体である国際NGO「オイスカ」が実施し、ベルマークの友愛政策事業の一つでもあるため、全国に広がるオイスカの組織や会員からマークが続々と寄せられるのが強みです。

活動を知った静岡県内の個人や企業、労働組合などが続々と寄せられるのは、地元紙の投書欄には、ベルマークの活動報告を年2回、委員長の名前で載せてもらっています。集まったマークの仕分け・集計は奉仕活動委員が取り組み、一般生徒、保護者、教職員、地域の人たちも続々な場面で協力してくれます。

「新聞に名前が載ると、しばらくは個人名でマーク新聞には写真まで載ったりします。ベルマーク新聞は、ちょっとなあ、そんな手紙を、齋藤さんは嬉しそうに話してくれました。（石田美由紀）

仕分け「させていただく」

幡野たいさん

押し入れをあけると得意の手芸の品がみふれかえっていました。「いっぱい作りすぎちゃってね、欲しいという方に差し上げています」

98歳の幡野たいさんの取材を終え、握手をして別れました。しっとりとした温もりでした。50年間、山梨県・上野原小学校で集めたベルマーク2417万点を仕分け、数えてきた手です。

幡野さんの功績をベルマーク新聞11月号で紹介しました。12月、改めて自宅にお邪魔しました。2階6畳間で、新聞を傍らに置いて、まだ続けていますよ、ベルマークのおかげで長生きしてますからと笑って話しました。11月にも1万5千点を仕分けたばかりです。1週間ほど費やしました。仕分けは年3回ほどです。終わると寂しくなってね、次に届くのが待ち遠しくて」

幡野さんは次女が同小4年当時、ベルマーク運動のことを知り始めました。PTA活動を持ち込み、4年の学年委員会でスタートさせました。1965（昭和40）年7月、運動に参加し、幡野さんの長いベルマーク人生が始まりました。やがてベルマークは学校の手伝いなどに使われ、後片付けの手伝いなどに使われます。

「親切で世話好き」、職員のみなさんの評判です。

自宅では毎朝、出庄を飼い、風呂のあとは絵を描いたり、意欲の手芸やジグーパズルをしたり、替え歌も作ります。部屋が一無なので階段の昇り降りも可能です。声も通り、口調も明瞭です。

上野原小では1月、預金会を開きます。幡野さんも出席します。大使として初の活動です。

鹿児島で根づかせた5年

平嶺光子さん

2011年3月11日、鹿児島市のビル8階の勤務先で、平嶺光子さんは、ゆっくりとした横揺れを感じました。

帰宅後、テレビが東日本大震災の被災地の深刻な状況を伝えていました。「お母さん」と泣き叫びながら母親を捜すある女の姿が、若くしてしてなった自分の母への思いと重なりました。

「何かしなければ」。義援金を出しましたが、「もっとできることがあるはず」。ネットで調べるうちに、ベルマークの震災被災校支援を知りました。

「1点一円になるベルマークが集められれば力になれるかもしれない」。何から手をつけていいのかわからないまま、たった一人でおこしまベルマーク運動推進の会」を立ち上げて、知人らのつてを頼りに地元企業を回り、事務所や店舗などに回収箱を置かせてもらい、活動への協力も呼び掛けました。

「王様の思い付きで始めたことで、平たんな道ばかりではありませんでしたが、スタート時の心細さは消えて、たくさんの方に厚く支えられています」

推進の会は、市中心部にあるNPO法人「かごしまNPO活動推進の会」のメンバー5年前には「全国一、児童数が多い小学校」に輝き、今年度も減ったとはいえ、379人を数える有数のマンモス校です。1988（昭和63）年から参加しているベルマーク運動の点数収集もけた違いに多く、2014年度には兵庫県で2番目の累計1000万点に達しました。

そんな神戸市立鵯崎小のPTAベルマーク委員会を今年度、束ねているのが井木正美さんです。「子どものころから取り組むのは初めて」。42人の委員からたまたま選ばれたと言います。ところが、委員長になって同校のベルマーク活動の熱心さに触れて緊張しました。

ベルマーク作業は実に地路的です。作業方法の「マニュアル」が書かれた「マニュアル」が歴代引き継がれています。まず1学期は委員全員が仕分けにあたり作業内容を覚えます。9月から月末での6月間は、各月に担当の学年を決めます。担当になった学年のPTAは1カ月間、集中して仕分け作業にたります。こうすることで作業にメリハリを付け負担感を減らしています。

いかなる思いましたけど、大量に集まるマークを前にして、やっぱり海鮮だしかないと思いました」と井木さん。「集まってみんなでおしゃべりするのも楽しいです」とも。

大使就任を伝えに同校を訪れると、多くの委員と一緒に学校に来てくれました。校庭でボール投げなどして遊ぶ大勢の児童たちを見て、ベルマークが買った備品で子どもたちが喜ぶ顔を見るとうれしい、運動をめめるお手伝いが出来れば、と話してくれました。

同校の体育の備品のほとんどは、歴代のPTA役員がベルマークに交換して購入したそうです。（田中昭宏）

④魚崎小PTAベルマーク委員会の仕分け作業⑤ベルマーク委員会役員。後ろ中央が井木さん、同右は松村幹也校長、同左は藤木稔教頭

マンモス校 取り組み本気

弁木正美さん

マークの力で 社会の役に

鈴木久仁さん

④「ベルマークはみんなで頑張れる」と語る鈴木久仁さん⑤社員の仕分け作業にも交じって汗を流しました（2002年11月、東京・恵比寿のあいおいニッセイ同和損保本社で）

社員から「おばさんの会社ってすごい。子どもからもらう言われました」と報告されたそうです。

自動車にあいおいニッセイ同和損保の保険をつけると、1契約あたり最大で100点がもらえます。1枚で大きな点数になることが学校で話題になり、親と子の会話になったようです。

「実は、すっとベルマークを忘れていました」

母校は川崎市内の小学校。子どものころ、日本は貧しかった。「学校の先生に言われて、マヨネーズの袋からマークを切って持っていきました。どんな教材になったのかは覚えていないのですが」

社会に出て営業の一線にいたときに、2人の娘が通う学校に集めたことも知りませんでした。今回、奥さんに「決張れますね」と言われました。

経営者である今は、日本独自の仕組みであるベルマークの力で社会の役に立ちたいと、積極的に考えています。

東日本大震災のとき、社員が会の形をとったベルマーク収集箱を作って、仕事先に配りました。箱には「被災地の多くの町に場のお店が協力します」と書いてありました。

東京の自動車販売会社では、ディーラーが勝ったら、「子どもたちのこころの記憶がよりどころ」と、その取引先の人から頼りかけられたそうです。

「ベルマークはみんなで頑張れます」と鈴木さんは。その良さを感じるようです。

取引先や社員が集めるベルマークは昨年、最寄先の学校を選べて1校10万点単位で贈ります。

損害保険会社では、暮らしや事業の危険を保険で支えて社会を豊かにする、ベルマークの仕組みを紹介しました。

「だから地域への貢献が第一です」

社内では自販機もベルマークつき飲料のものを置き、会議や奨学用にも使います。集計会社で開かれる仕分けの会には、役員も「出てきてください」と巻き込まれます。「細かくて、頭を使う作業ですね」と苦笑いします。（中島豪）

火曜日の仕分け 楽しくて

三田靖子さん

④慣れた手つきでベルマークを仕分ける火曜会の会員たち⑤大使の委嘱状を持つ三田さんを囲んで

「持ち前の元気と明るさで、ベルマーク運動の素晴らしさを多くの人たちに伝えたいですね」

仕分けボランティアグループ「火曜会」会長の三田靖子さんは、満面の笑顔で抱負を述べました。

三田さんは、愛知県職員として農業従事者を育成する部門で働き、大手ゼネコンの現場事務所にも勤めました。「社会のために、微力でも貢献したい」。そんな思いが募ったのは60歳を過ぎてから。

地元岡崎市のボランティア協議会「ボラティアセンター」を受講しました。そこで、ベルマーク運動で活躍するボランティアグループ「火曜会」の存在を知り、火曜会は1980（昭和55）年、市内の児童養護施設を支援するため、わずか3人で活動をスタート。以来、市内分とベルマーク財団からの委託分を合わせて仕分け・集計したベルマーク、記録に残る約20年分の累計で3280万点にのぼります。

2014年、6代目の会長に選ばれました。「大使のお役目を引きうけて、私たちも楽しくなってきて、私たちの地道な活動が認められた、と、大きな励みになりました」

現在、会員は50代から80代までの女性24人、毎週火曜日の午前10時から午後2時まで、都合の良い時に参加してもらっています。「気心の知れた仲間たちとの語らいと、ベルマークの仕分け作業、「何物にも代えがたい貴重な居場所です」

自ら率先して、市内のイベントなどで、ベルマーク運動の仕組みや意義を市民に積極的に紹介、普及にも力を入れています。

三田さんは「ベルマークを仕分けするだけではなく、企業や団体と連携しながら、ベルマークを集めるお手伝いをすることができれば」と話し、ベルマーク大使として新たな役割を探ることにしています。（峰正明）

子どもたちがいま熱中する 大ベストセラー！
シリーズ累計450万部突破！
科学漫画サバイバル 人気爆発！シリーズ
地中世界のサバイバル2 シリーズ最新刊！
スウィートファクトリー／文 韓賢東／絵 ●1200円（税別） 978-4-8313-1351-1
読いかける 地中の生き物たち！ 間隙の世界で大ピンチ!!
好評発売中
【好評既刊】32タイトル52冊！ ●1,188～1,296円
恐竜世界[12]／昆虫世界[1～3]／無人島／アマゾン／地震／砂漠／宇宙[1～3]／水河／サバンナ／海／新型ウイルス[12]／火山／南極／異常気象[12]／山／深海／人体[1～3]／干潟[12]／深海／極寒／自然史ミュージアム[12]／ロボット世界[1～3]／原子力[12]／電卷／エネルギー危機[12]／ヒマラヤ[12]／台風／植物世界[12]／大気汚染／アンコール・ワット[12]／ナイトサファリ[12]／地中世界[12]

「のびのび」「賢い子」を育てる！ 子育てに役立つヒントが満載!!
子どものイメージは絵本で高める！ 絵本で知るさまざまな"世界"
子どもに聞かれてもこれで安心！ 親が教える算数 第2回 図形
中学受験 モヤモヤ不安から直前期の過ごし方
学習効果がよりUPする！ 算数の「ココがつまずきやすい」&「得点アップ」のポイント！
通信教育の新たな展開 従来のサポートにデジタルが加わり、学習はどう変わったか
目標がとわが子との相性で見極める 学力がつく、塾・通教を見つける方法
塾・通教を最大限活用する親のサポート
子どもたちを伸ばす！ 塾・通信教育の選び方・学び方
「すごいね」「やったね」だけじゃない 子どもをもう一歩成長させる 本物のほめ言葉
子どもに目線に立って小さな頑張りを見つけよう ほめ言葉をどんどん使ってお子どもの自己イメージを高めよう
「すごいね」「やったね」だけじゃない 子どもをもう一歩成長させる 本物のほめ言葉
子どもの目線に立って小さな頑張りを見つけよう ほめ言葉をどんどん使ってお子どもの自己イメージを高めよう
なぜ、低学年から学習するべきなのか／プロが実践！ やる気になる学習法／自分から勉強する子になる七つのポイント
"自分からやる子"になる 低学年からの学習習慣
好評発売中
塾&通信教育
親力養成講座 最終回 親野智可等先生のお悩み解決 夫婦で子育ての方針が食い違う
そんなにペンキューがきらい？ いがらしみきお
AERA with Kids ウィズ キッズ 冬号
■A4判変型・140ページ ■季刊（3月、6月、9月、12月）各5日発売 定価780円（税込）
お求めは書店、ASA（朝日新聞販売所）、ウェブサイトでどうぞ。http://publications.asahi.com/
ASAHI 朝日新聞出版

家族で読めて広がる世界
世の中のこと、家族で話そう。毎日みんなで読めるから、共通の話題ができ、視野が広がります。
わかりやすいニュースと多彩な連載で、ワクワクしたり考えさせられたり。切り抜き、音読、書き写しなど、読む力・考える力を育てる活用も新聞ならではです。学校でも活用が広がっています。
さあ！「朝小」デビュー
大村智さんノーベル賞
温厚・学問には厳しく 故郷に科学センター
熱帯の感染症に効く薬を開発
アイドラン新薬、キャンベルさんと共同で
医学生理学賞
朝日小学生新聞 2015年10月7日 水曜日
中高生には…
朝日中高生新聞 日曜日発行 20～24ページ 月ぎめ967円（税込み）
忙しいキミに週1回、必要なニュースと情報を！
ニュースをやさしく解説します。「天声人語で200字作文」、お仕事リポート「夢ナビ!」、Hey!Say!JUMPのコラムなど連載も充実！
朝日小学生新聞 毎日発行 8ページ 月ぎめ1,769円（税込み）
孫へのお祝いに、新聞はどうかしら
朝日小学生新聞、朝日中高生新聞を贈るサービスです。3か月以上からご利用いただけます。
下記のいずれかの方法でお申し込みください。
1 朝日学生新聞社のサイト www.asagaku.com
●クレジット払い、コンビニ払いが可能です
●サイトから紙面の見本や読者の感想も見られます
このバナーをクリック！ 朝学ギフト
2 フリーコール 0120-415843
郵便振込またはコンビニでのお支払いは、お申し込み後、朝日学生新聞社からお送りするご案内にそって、お願いいたします
朝日小学生新聞（日刊） 5,307円（3か月） 4か月以上は1か月あたり1,769円が加算されます。
朝日中高生新聞（週刊） 2,901円（3か月） 4か月以上は1か月あたり967円が加算されます。
知的な贈り物 朝学ギフト
ご購読、朝学ギフトのお申し込み・お問い合わせは 通話無料 0120-415843 「ベルマーク新聞を見た」とお伝えください。
ウェブサイト asagaku.com/bell.html 朝日学生新聞社